

# 事業概要シート

施策 0202 小・中学校教育の充実

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計  
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。  
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	教員補助員派遣事業	現状維持	予算額	59,168 千円
				《 40,520 》千円
事業期間	~	財源内訳	国庫支出金	千円
			県支出金	2,213 千円
根拠法令 要綱等			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	56,955 千円

**【事業の目的・概要・対象】**

**【目的】**

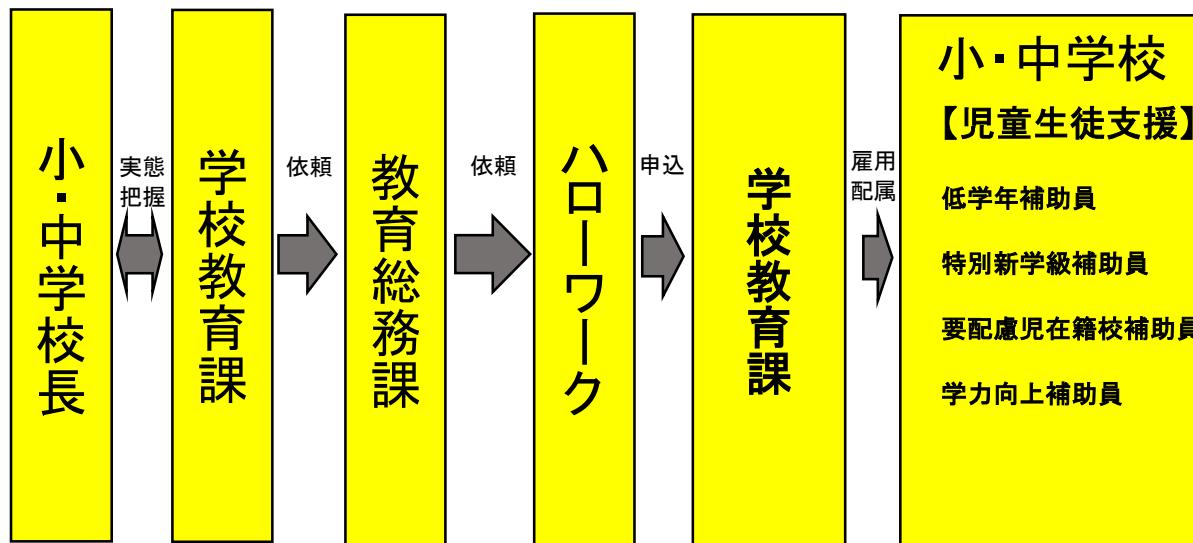
・ 支援を要する児童生徒を学校や学級における学習環境や生活環境に適応させるとともに、学級全体の児童生徒に対しよりよい教育環境を提供するため。

**【概要】**

・ 支援を要する児童生徒の在籍する学校や学級、また、新入学児童が100名を越す大規模校に補助員を配置する。

**【対象】**

・ 支援を要する児童生徒



**【背景】**

インクルーシブ教育システム構築が進む中、特別支援学級に在籍する児童生徒や通級による指導を受ける児童生徒が増加していることや、通常学級に在籍する発達障害等のある児童生徒への適切な対応が求められていることから、教員をサポートする補助員の役割が重要となっている。

担当課	教育委員会 学校教育課	課長	橋口 智秀
担当者	福井 隆弘	問合せ先	0957-53-4111(内線394)

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	補助員の配置校数	校	18	20	20	20	20
②	補助員の配置人数	人	42	50	52	52	52

### 【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①							
②							

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	32,389	34,588	40,520	59,168	59,168	59,168	285,001
国庫支出金							0
県支出金	1,969	1,847	1,990	2,213	2,213	2,213	12,445
地方債							0
その他							0
一般財源	30,420	32,741	38,530	56,955	56,955	56,955	272,556
人件費	1,171	2,545	2,909	2,909	2,909	2,909	15,351
職員(人)	0.15人	0.35人	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人	2.10人
時間外勤務(h)	40h						40h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	33,560	37,133	43,429	62,077	62,077	62,077	300,352

妥当性 (市の関与)	学校内における指導体制の整備については、県教委による教員の加配や非常勤職員の配置も行われているが、対象児童生徒は年々増加しており限界がある。当該児童生徒だけでなく、同学級に在籍する他児童生徒の安全確保及び学力保障の面からも、市による人的配置支援の必要性は高い。
有効性 (施策貢献度)	支援を要する児童生徒一人ひとりへの対応が可能となるとともに、学級集団が授業へ集中する時間を確保することができ、学級全体の学力向上を図る上で効果がある。また、個に応じた生活環境を保障することができる。
効率性 (コスト)	補助員は、必要な人員を配置しており、削減の余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり